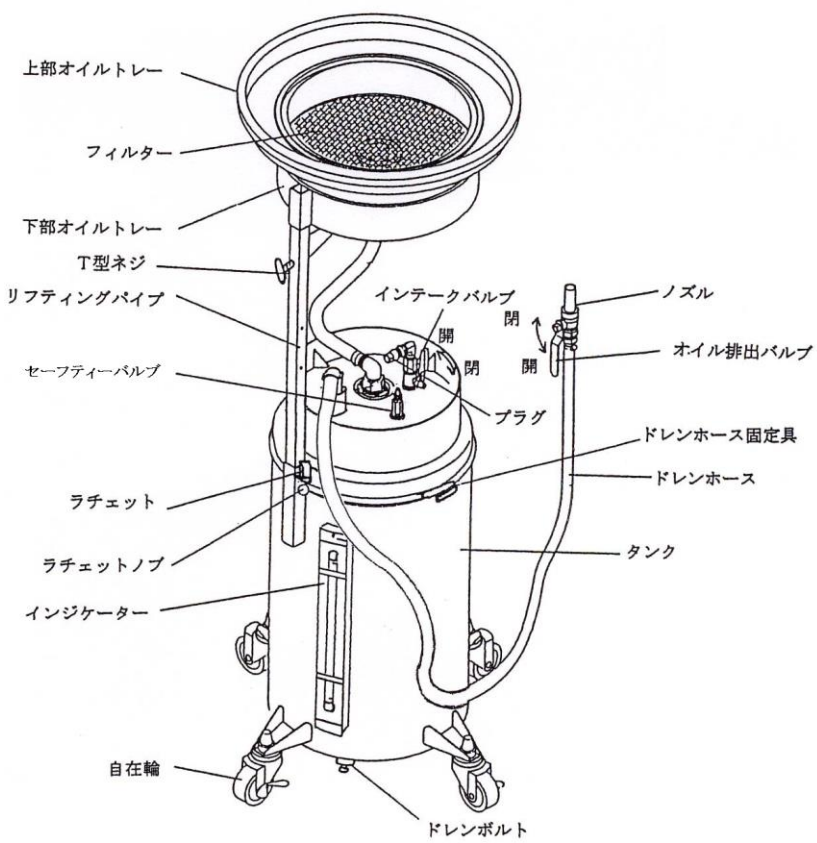
2012. 12

取扱説明書
廃油ドレン　品番：＃３７３２０２００　型式：Ｔ－８０Ｃ

１，使用方法
※下図を参考に組み立てして下さい。



①車輌をリフトで上げて下さい。
②オイルトレーの高さを調整して下さい。オイルトレーを上にする場合はリフティングパイプ（オイルトレー）を上方向に持ち上げて下さい。ラチェットが作動し、任意の位置で固定する事が出来ます。オイルトレーを下にする場合は、リフティングパイプ（オイルトレー）を少し上方向に持ち上げ、ラチェットのロックを解除してから、ラチェットノブを時計回転方向に回して、ラチェットがリフティングパイプから離れた状態にして下さい。そして、リフティングパイプ（オイルトレー）を下げて下さい。任意の位置でラチェットノブを離して、ラチェットを作動させ、固定して下さい。
③Ｔ型ネジを反時計回転方向に回して緩めると、オイルトレーをリフティングバルブ上で回転させる事が出来ます。位置が決まれば、Ｔ型ネジを時計回転方向に回して、確実に固定して下さい。
④本機を車輌の下に移動させて、自在輪のロックレバーを時計回転方向に回して、車輪を固定して下さい。
⑤上部オイルトレーにフィルターをセットして下さい。
⑥オイル排出バルブを閉め、インテークバルブを開けて下さい。タンク下部のドレンボルトが確実に締まっている事を確認して下さい。
⑦オイルを車輌から抜いて下さい。
⑧タンク内の廃油を排出する場合は、プラグをコンプレッサーの配管と接続し、インテークバルブを開けてからオイル排出バルブを開けて下さい。ノズルよりオイルが圧縮空気と共に排出されます。
⑨タンク内に溜まっているオイルの量は、インジケーターで確認出来ます。インジケーターの上までオイルが溜まっていれば、直ぐにオイルを排出して下さい。
⑩ドレンボルトを外せば、タンク下部よりオイルを排出する事が出来ます。

２，注意事項

⚠注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

①本機の**使用空気圧は１９６ｋＰａ（２ｋｇ／ｃｍ²）**です。**２９４ｋＰａ**以上の空気圧で使用すると、セーフティーバルブが作動します。
②本機の**タンクの最大容量は８０Ｌ**です。それ以上の廃油を本体に注入しないで下さい。
③オイルが冷えた状態で本機を使用して下さい。
④本機を軟弱地、傾斜面では使用しないで下さい。又、使用時、及び保管時は必ず車輪を固定して下さい。
⑤本機の清掃は、中性洗剤を使用し、シンナー等の可燃性物質、化学薬品は使用しないで下さい。
⑥フィルター、及び下部オイルトレーのフィルターは使用毎に清掃して下さい。
⑦本機は廃油専用です。その他のオイル、薬品、水、クーラント（冷却水）には使用出来ません。
⑧本機のノズルを人に向けて使用しないで下さい。
⑨使用後は、全てのバルブが閉まっている事を確認し、コンプレッサーの配管をプラグから外して下さい。
⑩ホースバンド等のネジの締結を、定期的に確認して下さい。
⑪本機の分解、修理、改造はしないで下さい。
⑫ラチェット部分に、指や手等を挟まない様に、注意して下さい。
⑬タンク内に廃油を入れる時は、必ずプラグからコンプレッサーの配管を外し、インテークバルブを開けて下さい（エア抜き）。インテークバルブを閉じたまま作業すると、トレーから廃油が溢れます。

株式会社パーマンコーポレーション
〒５５０－００２１　大阪市西区川口４－１－５
フリーダイヤル　　０１２０－２０２－８００